



# UCC Smile Festa 2024 環境報告書

## コーヒーの力で、 世界にポジティブな変化を

# Vision

コーヒーは単なる豆ではありません。

人と人、社会、自然を結びつけ、私たちが奮い立たせ、行動を起こすエネルギーや活力を与えてくれます。

コーヒーには、世界にポジティブな変化をもたらす力があります。

UCC サステナビリティ指針は、持続可能な未来に向けた私たちのロードマップです。

自然と人々が、共に豊かであり続けて欲しいという、私たちの願いです。

サステナブルな調達、健康と教育の推進、環境保全、カーボンニュートラルの実現を通じ、サステナブルビジョンの達成を目指します。

その道のりは長く険しく、自分ひとりでは前に進めないこともあります。

でも、私たちには多くの仲間がいます。

共に手を携え歩いていくことで、人々に、社会に、自然に、ポジティブな影響をもたらすことができます。

より良い世界へ。

人、地球、コーヒーが共に栄える未来へ。

ひと粒のコーヒーから。



## 大阪会場

2/27 (火) 10:00 – 17:00

2/28 (水) 10:00 – 16:00

インテックス大阪 5号館

## 名古屋会場

3/12 (火) 10:00 – 17:00

3/13 (水) 10:00 – 16:00

ポートメッセなごや 第2展示館

## 東京会場

3/26 (火) 10:00 – 17:00

2/27 (水) 10:00 – 16:00

東京流通センター 第一展示場

## 札幌会場

4/8 (月) 11:00 – 17:00

4/9 (火) 10:00 – 16:00

札幌パークホテル

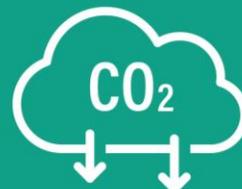
## 《 資源循環型イベントの実現に向けた2つの取り組み軸 》

取り組み対象：大阪・名古屋・東京 3会場



### ゼロウェイスト

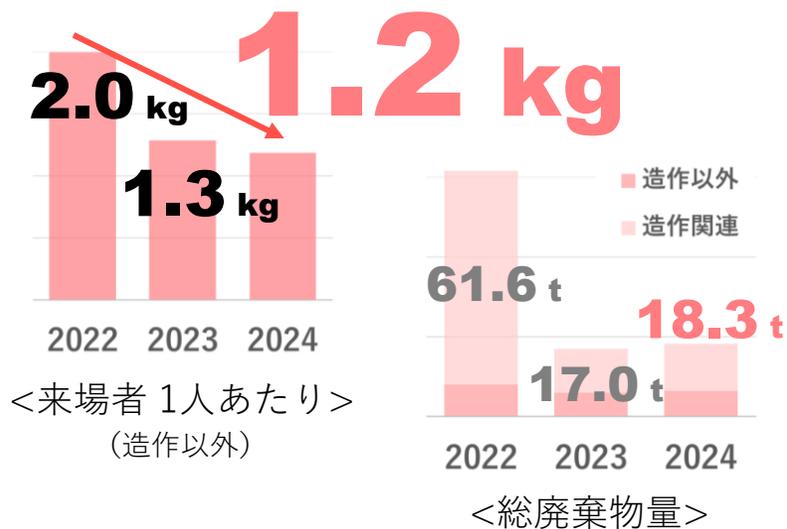
「ごみをゼロにする」ことを目標に、  
できるだけ“廃棄物”を減らします。



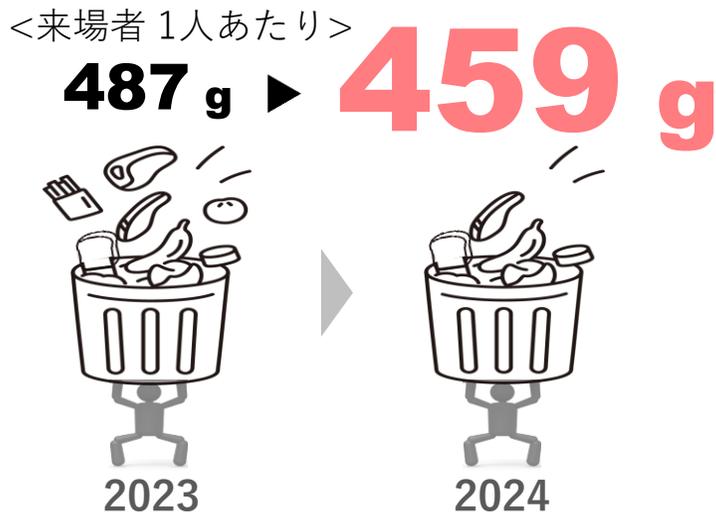
### CO<sub>2</sub> 排出量の削減

地球温暖化の要因となる、CO<sub>2</sub>をはじめとする  
温室効果ガスの排出量の削減を目指します。

## 廃棄物量



## 食品廃棄物量

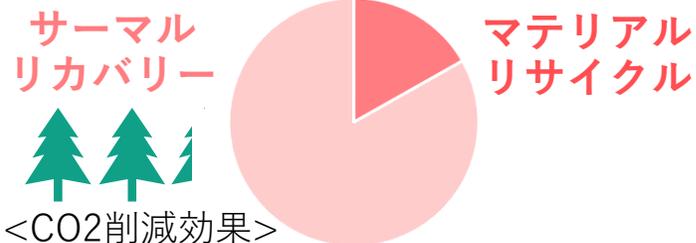


## 使い捨てプラスチック排出量



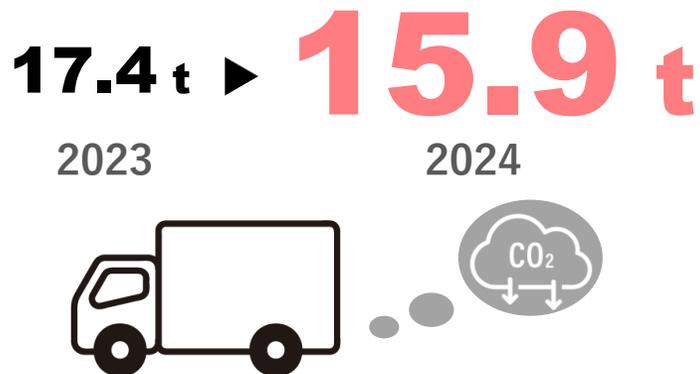
## 造作物のリサイクル比率

**100 %**



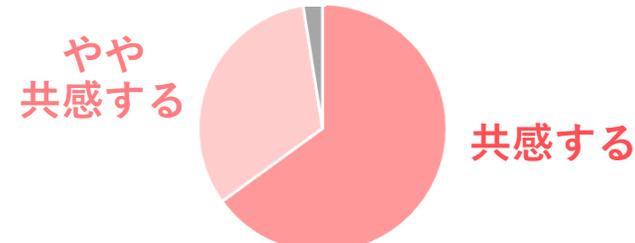
**<CO2削減効果>**  
杉の木 **213本分** (総発電量より算出)

## 運搬におけるCO2排出量



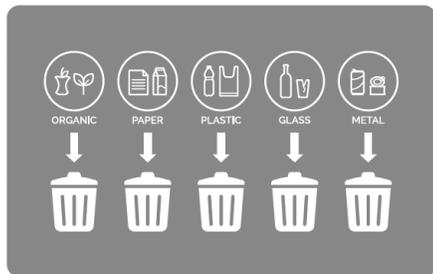
## 出展メーカーの共感度

**97 %**



**<説明会后アンケート結果>**

## 廃棄物の分別処理



廃棄物は排出量そのものの削減を目指すとともにリサイクル率を向上すべく適切な分別を徹底。

## 造作部材の選定



リユース・リサイクル可能な部材のひとつに、木単管（モクタンカン）と呼ばれる木の丸棒を金属製のクランプで固定し組み立てる素材を採用。

## 食品廃棄物の削減



出展社間で余った未開封食品サンプルのシェア・持ち帰りを推進するmottECO（もってこ）コーナーと開封後の食品を持ち寄って試食するtabetECO（食べてこ）コーナーを設置。

## 脱プラスチック



試飲試食用の容器やカトラリー類をすべて紙製・木製のものに統一。加えて、出展メーカーの推奨資材使用を一部費用補填し推進を強化。

## 展示照明のLED化



各コーナーの照明には、消費電力が少なく、寿命も長いLED照明を採用。

## 印刷物デジタル化



チラシやカタログは、紙の使用量削減のため印刷・配布せず、コーナー内にてQRコードを掲示しデジタル化を推進。

## CO2排出量の把握



会場電力、運搬用トラック、主催関係者の移動と宿泊によるCO2排出量をモニタリングし削減施策に活用。

## 出展メーカーとの共創



事前説明会にて方針・目標・具体的施策を共有し、連携体制を構築。説明会后アンケートにて理解度・共感度・意見・要望をヒアリング。

## 出展メーカーとの共創（続）



各会場の終礼にて取り組みへの協力・貢献度の高い出展メーカーを表彰。

### <表彰企業一覧> （順不同・敬称略）

日清オイリオグループ株式会社  
 株式会社ニチレイフーズ      森永乳業株式会社  
 味の素冷凍食品株式会社      株式会社ニッスイ  
 アリスタ フードソリューションズ ジャパン株式会社  
 キスコフーズ株式会社      株式会社Mizkan  
 スカーフード工業株式会社      株式会社大冷  
 ヴェスティ・フーズ・ジャパン株式会社  
 株式会社ヤヨイサンフーズ      カゴメ株式会社  
 マリンフード株式会社      株式会社日清製粉ウェルナ  
 甘利香辛食品株式会社

## イベント内での資源循環



昨年 UCC Smile Festa 2023 の会場にて回収した使用済紙カップを資源としてアップサイクルし、スタッフが着用するエプロンを製作。

<取り組みパートナー> 日本製紙グループ 日本紙通商株式会社

詳細はこちら ▶



日本紙通商(株)  
ウェブサイト ▶





ゼロウェイスト

- 2024年は会場から排出される食品廃棄物と使い捨てプラスチックを重量ベースで前年実績から10%削減することを目標に掲げ、**使い捨てプラスチック排出量※は0.6 t（前年比▲14%）**にて達成、**食品廃棄物量は来場者数増加（前年比+19%）**に伴い**2.5 t（前年比+12%）**となり未達となった。
- **来場者1人あたり**でみると、**食品廃棄物量は▲6%、使い捨てプラスチックは▲27%**となりいずれも前年より削減。**造作以外の廃棄物合計は前年比▲8%、2022年と比較すると▲41%**となる1.2 kgまで削減した。
- **造作関連の廃棄物量**は、設計段階では2023年よりも削減を見込んでいたが、**結果として増加**となった。その要因を分析したところ、重量は体積から換算しており、その**体積の計測方法が正確さに欠ける**ことが判明した。
- **造作物のリサイクル率は100%**だが、依然として**サーマルリカバリーの比率が83%**と高いことは課題。

※ 焼却・埋め立て処理されたプラスチックを使い捨てプラスチックとして集計



CO<sub>2</sub>排出量の削減

- 設計段階で**造作物を削減**するよう試みたことで**運搬トラック台数が減り、運搬トラックのCO<sub>2</sub>排出量を8.5%削減**。
- **会場の電力利用にひもづくCO<sub>2</sub>排出量**は、**大阪会場が昨年と異なる5号館での開催**だったこと、**開催時期や事前の会場使用状況**により暖房由来の電力利用量が増えたことから、**35.6%の増加**となった。
- **人の移動**には継続して可能な限り**公共交通機関**を活用し、**▲4.6%**という結果に。

《来期以降さらに強化したい取り組み》

- ◆ 造作関連廃棄物のサーマルリカバリーからマテリアルリサイクルへの切替
- ◆ 出展メーカーとの共創・連携
- ◆ 造作関連廃棄物量の測定方法変更による精度向上
- ◆ 会場から排出される廃棄物の削減・リサイクル率向上

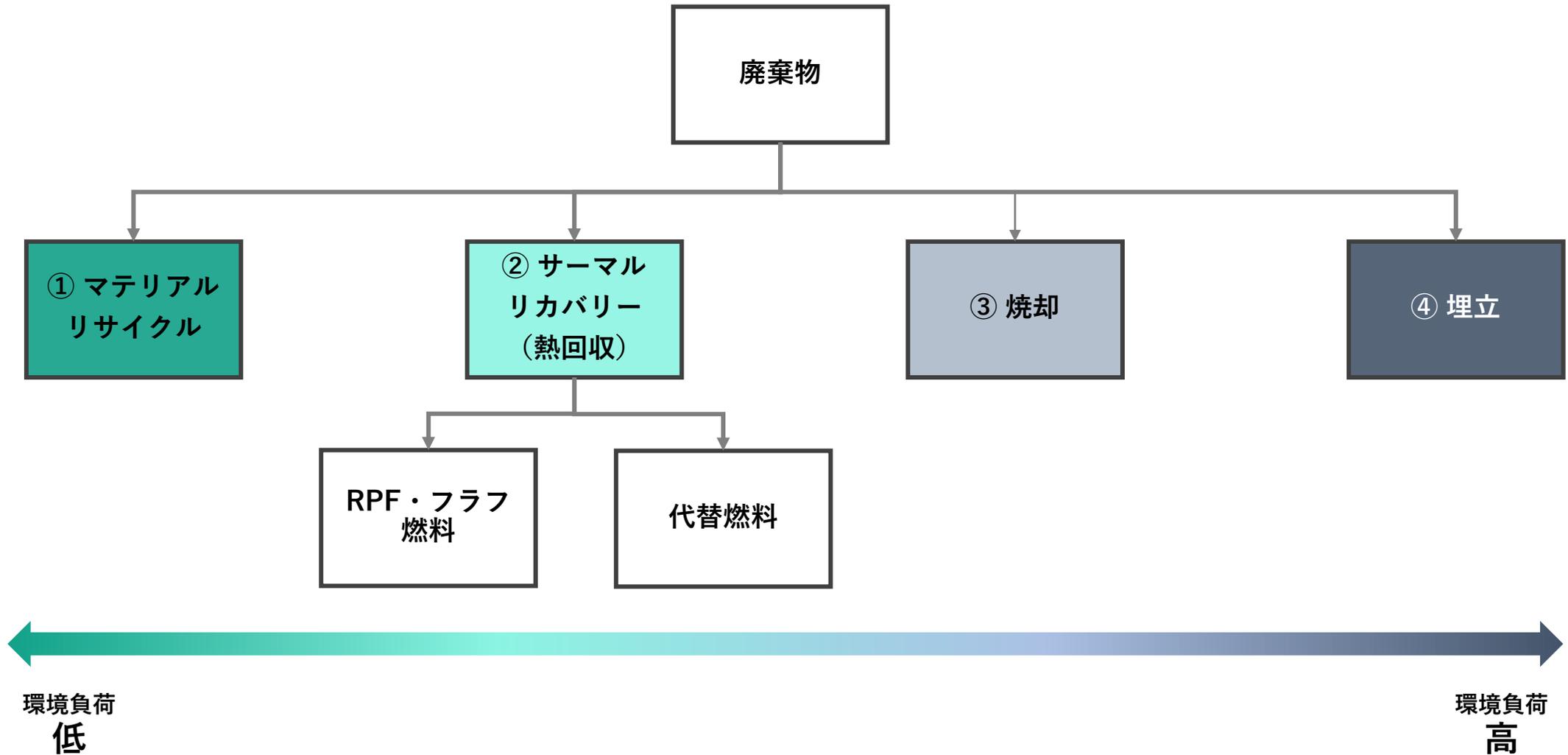
***wcc***

**Every coffee,  
every moment**



# 詳細データ集

## ■ 廃棄物の処理方法



マテリアルリサイクル：廃棄物等を原材料として再利用すること。例えば、アルミ缶を溶かしてアルミ缶その他のアルミ製品を製造することなどが再生利用にあたる。  
サーマルリカバリー：廃棄物から熱エネルギーを回収すること（熱回収）。ごみ発電をはじめ、施設内の暖房・給湯、温水プール、地域暖房等に利用されている。

## ■ 総廃棄物 詳細 (札幌を除く大阪・名古屋・東京会場の合計)

分類	種別	<UCC Smile Festa 2024>			<UCC Smile Festa 2023>			<前年対比>		<UCC Smile Festa 2022>			最終処理方法	備考
		排出量	来場者 あたり	構成比	排出量	来場者 あたり	構成比	増減率	来場者 あたり	排出量	来場者 あたり	構成比		
総合計 (1+2)		18.31 t	—	—	16.99 t	—	—	8 %	—	61.59 t	—	—		
会場で排出された廃棄物合計 (1)		6.41 t	1.18 kg	100.0%	5.85 t	1.29 kg	100.0%	10 %	▲ 8 %	8.05 t	2.00 kg	100.0%		
一般廃棄物	燃やすごみ	1.77 t	0.33 kg	27.6%	1.68 t	0.37 kg	28.8%	5 %	▲ 12 %	3.16 t	0.78 kg	39.2%	焼却・埋め立て	【2024目標】 2023排出量から5%削減
	食品廃棄物 (A+B)	2.49 t	0.46 kg	—	2.22 t	0.49 kg	—	12 %	▲ 6 %	2.57 t	0.64 kg	31.9%	会場による 詳細 p. 12-13	【2024目標】 2023排出量から10%削減
	A) 食品残渣	2.21 t	0.41 kg	34.4%	1.94 t	0.43 kg	33.2%	14 %	▲ 4 %	—	—	—	会場による 詳細 p. 12-13	
	B) 抽出後のコーヒー	0.28 t	0.05 kg	4.3%	0.28 t	0.06 kg	4.7%	▲ 0 %	▲ 16 %	—	—	—	会場による 詳細 p. 12-13	
	汚れたプラスチック	0.59 t	0.11 kg	9.2%	0.67 t	0.15 kg	11.4%	▲ 11 %	▲ 25 %	0.61 t	0.15 kg	7.6%	焼却・埋め立て	【2024目標】 2023排出量から10%削減
産業廃棄物	きれいなプラスチック	0.18 t	0.03 kg	2.8%	0.09 t	0.02 kg	1.6%	91 %	60 %	0.49 t	0.12 kg	6.1%	会場による 詳細 p. 12-13	
	使用済紙カップ	0.02 t	0.00 kg	0.4%	0.01 t	0.00 kg	0.1%	352 %	279 %	—	—	—	マテリアルリサイクル	一部エリアにて2023年より回収
	ビン	0.01 t	0.00 kg	0.2%	0.03 t	0.01 kg	0.5%	▲ 46 %	▲ 55 %	0.02 t	0.00 kg	0.2%	マテリアルリサイクル	
	缶	0.02 t	0.00 kg	0.4%	0.03 t	0.01 kg	0.4%	▲ 4 %	▲ 19 %	0.03 t	0.01 kg	0.4%	マテリアルリサイクル	
	ペットボトル	0.10 t	0.02 kg	1.5%	0.05 t	0.01 kg	0.9%	85 %	55 %	0.05 t	0.01 kg	0.6%	マテリアルリサイクル	
	ダンボール	1.15 t	0.21 kg	18.0%	1.05 t	0.23 kg	17.9%	10 %	▲ 7 %	1.06 t	0.26 kg	13.2%	マテリアルリサイクル	
	廃油	0.07 t	0.01 kg	1.1%	0.03 t	0.01 kg	0.5%	146 %	106 %	0.06 t	0.01 kg	0.7%	マテリアルリサイクル	
造作関連の廃棄物合計 (2)		11.90 t	—	100.0%	11.14 t	—	100.0%	7 %	—	53.54 t	—	100.0%		体積を測定し重量換算
産業廃棄物	紙くず	0.00 t		0.0%	0.00 t		0.0%	—		0.06 t		0.1%	マテリアルリサイクル	
	廃プラスチック	0.70 t		5.9%	0.00 t		0.0%	—		0.00 t		0.0%	マテリアルリサイクル	2024実測値 2.0m <sup>3</sup>
	木くず	9.90 t		83.2%	8.80 t		79.0%	13 %		50.93 t		95.1%	サーマルリカバリー	2024実測値 18.0m <sup>3</sup>
	金属くず	0.00 t		0.0%	0.00 t		0.0%	—		0.45 t		0.8%	マテリアルリサイクル	
	がれき類	0.00 t		0.0%	0.00 t		0.0%	—		0.10 t		0.2%	マテリアルリサイクル	
	混合廃棄物	1.30 t		10.9%	2.34 t		21.0%	▲ 44 %		2.00 t		3.7%	マテリアルリサイクル	2024実測値 5.0m <sup>3</sup>

累計来場者数 2024 : 5,416 名  
2023 : 4,545 名  
2022 : 4,023 名

## ■ 会場から排出された廃棄物 詳細 (会場別、造作関連を除く)

会場	分類	種別	2024 排出量	構成比	2023 排出量	増減率 (前年比)	2022 排出量	最終処理方法	備考	
大阪会場	合計		2,048.0 kg	100.0%	1,571.2 kg	30%	1,924.2 kg			
	一般廃棄物	燃やすごみ	641.3 kg	31.3%	541.4 kg	18%	804.6 kg	焼却・埋め立て		
		汚れたプラスチック	258.7 kg	12.6%	228.6 kg	13%	75.4 kg	焼却・埋め立て	会場で計測	
	産業廃棄物	食品廃棄物 (A+B)		680.0 kg	—	530.0 kg	28%	600.0 kg	リサイクル (炭化)	
		A) 食品残渣		573.7 kg	28.0%	395.7 kg	45%	—	リサイクル (炭化)	
		B) 抽出後のコーヒー粉		106.3 kg	5.2%	134.3 kg	-21%	—	リサイクル (炭化)	
		きれいなプラスチック		120.0 kg	5.9%	0.0 kg	—	190.0 kg	マテリアルリサイクル	
		使用済紙カップ		7.5 kg	0.4%	—	—	—	マテリアルリサイクル	UCC's Sustainabilityエリアにて回収
		ビン		2.0 kg	0.1%	10.0 kg	-80%	10.0 kg	マテリアルリサイクル	
		缶		4.3 kg	0.2%	10.0 kg	-57%	15.0 kg	マテリアルリサイクル	
		ペットボトル		20.2 kg	1.0%	16.0 kg	26%	8.0 kg	マテリアルリサイクル	
		ダンボール		314.0 kg	15.3%	225.0 kg	40%	200.0 kg	マテリアルリサイクル	
廃油		0.0 kg	0.0%	10.2 kg	-100%	21.2 kg	マテリアルリサイクル			
名古屋会場	合計		1,987.7 kg	100.0%	1,826.4 kg	9%	3,155.9 kg			
	一般廃棄物	燃やすごみ	609.4 kg	30.7%	585.7 kg	4%	1,495.0 kg	焼却・埋め立て		
		食品廃棄物 (A+B)		777.0 kg	—	663.8 kg	17%	881.2 kg	焼却・埋め立て	
		A) 食品残渣		690.6 kg	34.7%	608.2 kg	14%	—	焼却・埋め立て	燃やすごみとして最終処理
		B) 抽出後のコーヒー粉		86.4 kg	4.3%	55.6 kg	55%	—	焼却・埋め立て	会場で計測
		汚れたプラスチック		95.7 kg	4.8%	176.5 kg	-46%	314.0 kg	焼却・埋め立て	
	産業廃棄物	きれいなプラスチック		53.5 kg	2.7%	64.4 kg	-17%	126.4 kg	マテリアルリサイクル	会場で計測
		使用済紙カップ		7.5 kg	0.4%	—	—	—	マテリアルリサイクル	UCC's Sustainabilityエリアにて回収
		ビン		3.4 kg	0.2%	2.3 kg	46%	3.3 kg	マテリアルリサイクル	会場で計測
		缶		8.0 kg	0.4%	3.5 kg	129%	6.1 kg	マテリアルリサイクル	会場で計測
		ペットボトル		32.2 kg	1.6%	11.8 kg	173%	12.4 kg	マテリアルリサイクル	会場で計測
		ダンボール		350.0 kg	17.6%	310.0 kg	13%	300.0 kg	マテリアルリサイクル	
廃油		51.2 kg	2.6%	8.4 kg	510%	17.5 kg	マテリアルリサイクル	会場で計測		

## ■ 会場から排出された廃棄物 詳細 (会場別、造作関連を除く)

会場	分類	種別	2024 排出量	構成比	2023 排出量	増減率 (前年比)	2022 排出量	最終処理方法	備考
東京会場	合計		2,378.6 kg	100.0%	2,447.7 kg	-3%	2,908.4 kg		
	一般廃棄物	燃やすごみ	518.9 kg	21.8%	557.3 kg	-7%	802.7 kg	焼却・埋め立て	会場で計測
		食品廃棄物 (A+B)	1,028.8 kg	—	1,021.8 kg	1%	1,089.1 kg	焼却・埋め立て	燃やすごみとして最終処理 会場で計測
		A) 食品残渣	945.4 kg	39.7%	935.2 kg	1%	—	焼却・埋め立て	
		B) 抽出後のコーヒー粉	83.5 kg	3.5%	86.6 kg	-4%	—	焼却・埋め立て	
		汚れたプラスチック	239.0 kg	10.0%	259.9 kg	-8%	222.8 kg	焼却・埋め立て	
		きれいなプラスチック	7.9 kg	0.3%	30.5 kg	-74%	172.9 kg	焼却・埋め立て	
	産業廃棄物	ビン	9.3 kg	0.4%	15.0 kg	-38%	10.2 kg	マテリアルリサイクル	会場で計測
		缶	12.2 kg	0.5%	12.0 kg	2%	8.9 kg	マテリアルリサイクル	会場で計測
		使用済紙カップ	8.5 kg	0.4%	5.2 kg	63%	—	マテリアルリサイクル	UCC's Sustainabilityエリアにて回収
		ペットボトル	43.3 kg	1.8%	24.0 kg	81%	27.3 kg	マテリアルリサイクル	会場で計測
		ダンボール	489.1 kg	20.6%	511.1 kg	-4%	555.8 kg	マテリアルリサイクル	会場で計測
廃油		21.8 kg	0.9%	11.1 kg	96%	18.7 kg	マテリアルリサイクル	会場で計測	
札幌会場	合計		1,164.0 kg	100.0%	1,063.3 kg	9%	—		
	一般廃棄物	燃やすごみ	320.0 kg	27.5%	151.7 kg	111%	—	焼却・埋め立て	会場で計測
		食品廃棄物 (A+B)	486.2 kg	—	550.7 kg	-12%	—	焼却・埋め立て	会場で計測
		A) 食品残渣	473.6 kg	40.7%	531.0 kg	-11%	—	焼却・埋め立て	会場で計測
		B) 抽出後のコーヒー粉	12.6 kg	1.1%	19.7 kg	-36%	—	焼却・埋め立て	会場で計測
		汚れたプラスチック	60.0 kg	5.2%	120.4 kg	-50%	—	焼却・埋め立て	会場で計測
	産業廃棄物	きれいなプラスチック	28.4 kg	2.4%	11.9 kg	139%	—	マテリアルリサイクル	会場で計測
		ビン	24.1 kg	2.1%	3.3 kg	642%	—	マテリアルリサイクル	会場で計測
		缶	1.9 kg	0.2%	3.1 kg	-38%	—	マテリアルリサイクル	会場で計測
		ペットボトル	33.5 kg	2.9%	22.5 kg	49%	—	マテリアルリサイクル	会場で計測
		ダンボール	209.9 kg	18.0%	199.9 kg	5%	—	マテリアルリサイクル	会場で計測
		廃油	0.0 kg	0.0%	0.0 kg	—	—	マテリアルリサイクル	会場で計測

## ■ 造作関連の廃棄物 詳細

### 排出実績 [m³]

	2022	2023	2024	処理
木くず	92.60	16.00	18.00	サーマルリカバリー
混合廃棄物	7.70	9.00	5.00	マテリアルリサイクル
廃プラスチック	0.00	0.00	2.00	マテリアルリサイクル
紙くず	0.20	0.00	0.00	マテリアルリサイクル
金属くず	0.40	0.00	0.00	マテリアルリサイクル
がれき類	0.10	0.00	0.00	マテリアルリサイクル
<b>合計</b>	<b>101.00</b>	<b>25.00</b>	<b>25.00</b>	

### 重量換算 [t]

	2022	2023	2024	換算係数 [t/m³]
木くず	50.93	8.80	9.90	0.55
混合廃棄物	2.00	2.34	1.30	0.26
廃プラスチック	0.00	0.00	0.70	0.35
紙くず	0.06	0.00	0.00	0.30
金属くず	0.45	0.00	0.00	1.13
がれき類	0.10	0.00	0.00	1.00
<b>合計</b>	<b>53.54</b>	<b>11.14</b>	<b>11.90</b>	

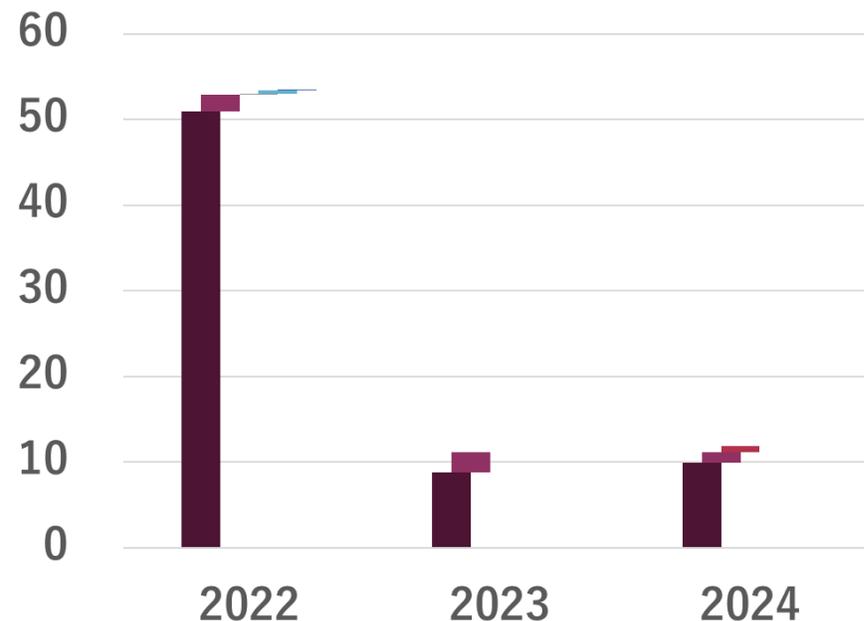
(混合廃棄物内訳)

廃プラ	1.50
紙くず	0.50
木くず	1.50
繊維くず	0.00
金属くず	1.00
ガラス陶磁器	0.25
石膏ボード	0.00
がれき類	0.25
内訳数量	5.00

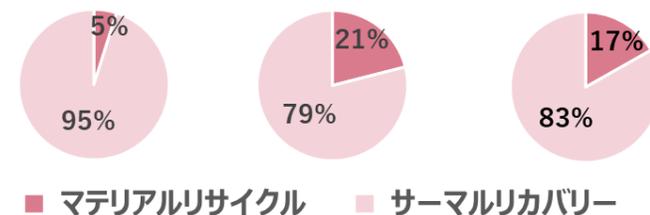
- ※1) 契約アンペア数「30A」の1kWhの単価にて算出
- ※2) 一般家庭1か月あたり消費量「300kWh」にて算出
- ※3) 杉の木（樹齢80年）が1年間に吸収するCO2量 14kg-CO2
- ※4) 東京電力エナジーパートナーのCO2排出係数「0.000462t-CO2/kWh」

## 造作関連廃棄物重量 [t]

■ 木くず ■ 混合廃棄物 ■ 廃プラスチック  
■ 紙くず ■ 金属くず ■ がれき類



< リサイクル比率 (重量ベース) >



■ マテリアルリサイクル ■ サーマルリカバリー

木材廃棄物をバイオマス発電へ (熱回収)



総発電量 6,464kwh (22世帯分※1※2/月)

→ 杉の木 213本 相当分のCO2削減効果

※3※4

## ■ CO2排出量

分類	会場	2024年 排出量 [t-CO2]	2023年 排出量 [t-CO2]	増減率 (前年比)	2022年 排出量 [t-CO2]	備考
運搬トラック	大阪	8.12	7.14	13.7 %	9.58	算定には「トラック運送事業者用 CO2排出量簡易算定ツール STEP2」を採用 <a href="https://jta.or.jp/member/kankyo/vision2030tools.html">https://jta.or.jp/member/kankyo/vision2030tools.html</a>
	名古屋	6.04	8.46	▲ 28.6 %	8.49	
	東京	1.76	1.81	▲ 2.6 %	1.92	
	計	<b>15.92</b>	<b>17.40</b>	<b>▲ 8.5 %</b>	<b>19.99</b>	
会場の電力利用	大阪	4.66	2.42	92.2 %	3.19	排出係数 0.000445kg-CO2/kWh
	名古屋	2.97	2.84	4.7 %	2.86	排出係数 0.000433kg-CO2/kWh
	東京	0.68	0.82	▲ 17.8 %	1.07	排出係数 0.000457kg-CO2/kWh
	計	<b>8.30</b>	<b>6.08</b>	<b>36.5 %</b>	<b>7.11</b>	
関係者の 移動・宿泊	大阪	5.83	5.66	3.0 %	—	主催者企画関係者の移動・宿泊による排出量を2023より算定 移動はオフィス⇔会場間として算定 算定方法は p. 16 参照
	名古屋	4.68	5.08	▲ 7.8 %	—	
	東京	0.07	0.36	▲ 80.8 %	—	
	計	<b>10.58</b>	<b>11.10</b>	<b>▲ 4.6 %</b>	—	
合計		<b>34.80</b>	<b>34.58</b>	<b>0.6 %</b>	—	

## CO2排出量 – 運搬トラック [t-CO2]

会場	2024	2023	2022	増減率 (2024 前年比)
名古屋	8.12	7.14	8.49	13.74%
大阪	6.04	8.46	9.58	-28.57%
東京	1.76	1.81	1.92	-2.61%
<b>総合計</b>	<b>15.92</b>	<b>17.40</b>	<b>19.99</b>	<b>-8.52%</b>

トラック運送事業者用CO2排出量簡易算定ツール STEP2 にて  
燃料種別、燃料使用量、走行距離、最大積載量より算出  
<https://jta.or.jp/member/kankyo/vision2030tools.html>

## CO2排出量 – 人の移動・宿泊 [t-CO2]

	会場	2024	2023	増減率 (2024 前年比)
移動	大阪	1.74	1.94	-10.62%
	名古屋	1.15	1.49	-22.50%
	東京	0.07	0.07	-6.56%
	<b>計</b>	<b>2.96</b>	<b>3.50</b>	<b>-15.57%</b>
宿泊	大阪	4.10	3.72	10.17%
	名古屋	3.53	3.59	-1.75%
	東京	0.00	0.28	-100.00%
	<b>計</b>	<b>7.62</b>	<b>7.59</b>	<b>0.41%</b>
移動 + 宿泊	大阪	5.83	5.66	3.03%
	名古屋	4.68	5.08	-7.83%
	東京	0.07	0.36	-80.83%
	<b>合計</b>	<b>10.58</b>	<b>11.10</b>	<b>-4.64%</b>

(2023年より測定のため2022年はデータなし)

移動の原単位

種別	GHG排出係数		出典
鉄道	0.028	kg-CO2/人・km	国土交通省 <a href="https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000007.html">https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000007.html</a>
自家用車	0.131	kg-CO2/人・km	
航空	0.133	kg-CO2/人・km	
バス	0.109	kg-CO2/人・km	
電力	0.443	kg-CO2/kWh	電気事業者別排出係数（特定排出者の温室効果ガス排出量算定用） <a href="https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/r04_coefficient_rev.pdf">https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/r04_coefficient_rev.pdf</a> -R2年度実績 - R4.1.7 環境省・経済産業省公表、R4.2.17一部修正
水道	0.245	kg-CO2/m <sup>3</sup>	東京都水道局 <a href="https://www.waterworks.metro.tokyo.lg.jp/kurashi/co2.html">https://www.waterworks.metro.tokyo.lg.jp/kurashi/co2.html</a>
宿泊	31.5	kg-CO2/泊	

宿泊の原単位

サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための  
排出原単位データベース（Ver.2.5）を適用

# CO2排出量 – 会場の電力利用

## ◀ UCC Smile Festa 2024 ▶

	開催期間	電気使用量 [kWh]	排出量 [t-CO2]	前年比	排出係数 [t-CO2/kWh]	電力会社
インテックス大阪 (5号館)	2024/2/27-28 (2日間)	10,463	4.66	92.2% <sup>※5</sup>	0.000445	テプコカスタマーサービス株式会社
ポートメッセなごや (第2展示館)	2024/3/12-13 (2日間)	6,860	2.97	4.7%	0.000433	中部電力ミライズ株式会社
東京流通センター (第一展示場)	2024/3/26-27 (2日間)	1,480	0.68	-17.8%	0.000457	東京電力エナジーパートナー株式会社
3会場合計		18,803	8.30	36.5%		

環境省 温室効果ガス排出量 算定方法・排出係数一覧  
<https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc>  
 電気事業者別排出係数一覧  
[https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/r06\\_coefficient\\_rev2.pdf](https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/r06_coefficient_rev2.pdf)

※5) 大阪会場は2024年 インテックス大阪 5号館を、  
 2023年 同施設 3号館を利用。  
 場所による違いとともに、事前の会場使用有無  
 により暖房の立ち上がり電力に差が生じたこと  
 が排出量増加の要因と推察。

## ◀ UCC Smile Festa 2023 ▶

会場	開催期間	電気使用量 [kWh]	排出量 [t-CO2]	前年比	排出係数 [t-CO2/kWh]	電力会社
ポートメッセなごや (第2展示館)	2023/3/7-8 (2日間)	6,320	2.84	-0.7%	0.000449	中部電力ミライズ株式会社
インテックス大阪 (3号館)	2023/3/14-15 (2日間)	4,213	2.42	-23.9%	0.000575	テプコカスタマーサービス株式会社
東京流通センター (第一展示場)	2023/3/28-29 (2日間)	1,800	0.82	-22.9%	0.000457	東京電力エナジーパートナー株式会社
3会場合計		12,333	6.08	-14.4%		

## ◀ UCC Smile Festa 2022 ▶

会場	開催期間	電気使用量 [kWh]	排出量 [t-CO2]	前年比	排出係数 [t-CO2/kWh]	電力会社
インテックス大阪 (5号館A)	2022/3/15-16 (2日間)	6,924	3.19	—	0.000460	テプコカスタマーサービス株式会社
ポートメッセなごや (第2展示館)	2022/3/22-23 (2日間)	7,040	2.86	—	0.000406	中部電力ミライズ株式会社
東京流通センター (第一展示場)	2022/3/29-31 (3日間)	2,407	1.07	—	0.000443	東京電力エナジーパートナー株式会社
3会場合計		16,371	7.11	—		